

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2395300011
事業所名	グループホーム ほほえみ扶桑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	近所の人から野菜や果物の差し入れがあったり、地域の人が認知症についての相談や見学に来ることもある。また、地域の盆踊りや公園へ花見に行ったり、保育園の運動会や発表会に行くなどして交流を図っている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	年6回開催され、地域包括支援センター職員や役場職員や自治会長、民生児童委員など多数の参加が得られている。毎回講師を招いて、高齢者の栄養についてや徘徊者に対する理解や歯の大切さについて話してもらっており、身近なことに関してなので出席者より好評を得ている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	平成26年度より扶桑町主催で、「ひまわりあんしんネットワーク」が立ち上がり、2回目開催時には自治会、役場、消防、施設関係者、施設関係者が集まり、地域の高齢者の保護や対応について話し合っている。実践者研修や介護予防についてなどの研修にも参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	家族会は年2回行われ、10名ほどの参加がある。来訪時や家族会のときなどに要望や意見を聞き、職員間で共有している。また、頻繁に来る家族は、利用者も顔なじみになり、挨拶を交わすようになっている。「ほほえみ扶桑だより」を毎月発行し、スタッフが手書きで個々に近況の様子を書き、送付している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎				